

支社	大坂	TEL: 06(6942)2601	Email: osaka@decn.co.jp
名古屋	TEL: 052(96)2831	Email: nAGOYA@decn.co.jp	
横浜	TEL: 045(201)3821	Email: yokohama@decn.co.jp	
関東	TEL: 03(3433)7161	Email: kANTO@decn.co.jp	
東北	TEL: 02(225)2292	Email: tohoku@decn.co.jp	
九州	TEL: 092(741)4805	Email: kyusyu@decn.co.jp	

## ■ 日刊建設工業新聞社 ■

## 日刊建設工業新聞

## タイで役立つ18技術売り込み



王室灌漑局のラートウィロート・コワタナ局長

日本の最新の建設技術を知る機会を提供する今回のセミナーは良い試みだ。タイでは水管理や洪水対策に関する多くのプロジェクトが計画されている。治水だけでなく、灌漑も含めた大規模な導水路計画もあり、最新のトンネル技術には興味がある。



バンコク都排水・下水局のカンワーン・ディスワント局長

工事をより安全に、より速くできる新技術をタイの建設業関係者は学ばなければならぬ。バンコク都内は、街中の開発が急ピードで進み、それにインフラ整備が対応できていない。整備予算も厳しい状況にあり、計画的な整備が今後必要になるだろう。



タイ建設協会のサンウォン・リッパバパンロップ会長

新たな技術を導入することで、安価で安全に施工できるようになる。セミナーを通じて新技術の知見を得ることは大切なことだ。視野が確実に広がった。タイの建設業界は人手不足になりつつある。機械化やプレキャスト化はタイ国内でも進むだろう。



タイ建設研究所のチャッポン・ウンチット所長

タイの建設労働者はこれまで海外に出て仕事をすることが多かったが、最近では国内でも人手が足りなくなり、海外で働くことは考えにくくなっている。発注者の理解を得ながら、プレキャストなどの省人化技術を取り入れる必要があるだろう。



TEAMコンサルティング・エンジニア協会のスポーツ・ローファーリン会長

日本国内の工事現場を見たことがあるが、安全第一で施工されていたのが印象的だった。タイは安全に対する規則も緩く、安全対策は遅れている。日本の新技術は安全面からもいろいろな工夫や各種の技術が駆使されていて、タイでも役立つことがあるだろう。



TEAMコンサルティング社のシャフリット・チエンタララット取締役国際本部長

日本の技術を紹介した今回のセミナーは素晴らしい。ただ、重要なのは新技術が採用されるマッチングの仕組みをどう作るかだ。その際、技術内容だけでなく、コストの説明も必要となる。繰り返しセミナーを行うことで、そうした課題を少しづつ解決していく必要があるだろう。

## 日本企業13社プレゼン、評判は上々



セミナーには連日100人を超える参加者があった

セミナーにはタイの行政機関や建設会社、建設コンサルタント会社の関係者ら延べ約320人が参加。初日にいざつた北橋理事長は「タイへの展開に積極的な日本企業から建設技術を公募し、タイで役に立つ18の建設技術を李レゼンティーションする。興味のある技術があれば、日本企業に質問していただき、まずは技術の採用についてお聞きください」と要請した。

セミナーは3日間とも、まずタイ政府やバンコク都、建設関連調査機関、建設コンサルタント会社の関係者が

タイの建設事情や主要プロジェクト、

洪水対策などをテーマに基調講演。そ

の後、日本の建設関連企業が保有技術をアレンジーションした。各技術に

対する質疑応答も行われたが、技術の

詳細を知りたいタイの参加者は会場

内に設けられたボスター・セッション

で、あらためて日本企業の担当者に技術内容などを聞いた。

□ □ □

## マッチングの仕組みづくりが課題

紹介された日本の建設技術は「地盤改良」「免震・制震」「護岸・盛り土」「省力化」「洪水対策」の5分野。同センターが一年半前からタイの建設事情を調査し、タイで必要と思われる五つの技術分野に絞り込んだ。今年4月に5分野の技術を国内で公募。応募のあった企業の中から13社、18技術

のプレゼンテーションを行った。日本企業側の反応はどうだったのか。清水建設の荒川和哉センター長は「タイではこれから地下鉄などの大規模プロジェクトもあり、日本大企業のゼネコンの方にセミナーを開催の話を聞き、すぐに応募した。タイに一層磨きをかける考え方を示した。

セミナーに対する日本企業側の評判も一様に良かった。今回のセミナーについて、ハイグレードノイベル研究コンソーシアムの運営委員として発表した平野孝行西松建設土木設計部担当部長は「海外で日本の技術を採用してもう少し良かっただろう」と技術を奨励した。会場を提供した日本大使館の小林孝二等書記官も「個々の

セミナーに対する日本企業側の評判も一様に良かった。今回のセミナーについて、ハイグレードノイベル研究コンソーシアムの運営委員として発表した平野孝行西松建設土木設計部担当部長は「海外で日本の技術を採用してもう少し良かっただろう」と技術を奨励した。会場を提供した日本大使館の小林孝二等書記官も「個々の